

観光事業者収益力向上サポート事業（観光サポート2026）オンライン逆商談会 申し込み一覧

今抱えている課題◎

提案して欲しい内容♥

A社
宿泊業

ゲストハウスを開業予定で、web予約システム、スマートロック、スマート自販機、レンタル品やヨガイベント、写真販売、などを取り入れたいが、人手不足であり、自動化へのノウハウがないです。複数のツールを導入しても、管理画面がバラバラだと結局手間が増えてしまいます。「入口（予約）から出口（清掃・決済）まで一本の線で繋ぐ」方法があったら嬉しいです。

- ①予約システムの自動化に月額の維持費を払わないWordPress用PMSプラグイン以外の方法があれば教えていただきたいです。
- ②襖にスマートロックをかけられる方法はありますか？
- ③「スマート自販機（DX）」を検討していて、予約システムと連動できる、キャッシュレス決済対応のショーケース（自販機）はありますか？

B社
飲食業

弊社では昨年から今年年初にかけて、4店舗を開店するという創立初の発展がありまして、特定技能外国人も50人を超え雇用、反面、日本人はパートやタイミーで社員雇用が極端に少ない状況のなか、人はいても1人前でなかつたりと一部のスタッフに負担がかかっています。また、外国人が多いため、トラブル処理や責任者問題などがあった際の対応も手薄です。それなりに徐々にDX化や効率化は取り組んできたので、大きな改革はイメージできませんが、店舗ごとに未導入のシステムなどあり、そこを改善していきたいと思っています。また、店が急増するなか、管理を支える事務所の経理、人事担当は増えず、事務所の効率化も問題です。

すでに導入体験がある掃除ロボ、非接触レジ（スタッフが対応するが現金処理が自動のもの）、Matoca（ウェイティング客対応機）、コインカウンターなどは何店舗かで導入したいと思いますが、調べてみたところ、店外注文システム（テイクアウト注文を受け、Ebicaなどの予約システムに連動する？）やスマートセンサー（冷蔵庫・冷凍庫の温度を24時間自動監視）、仕入れ管理システム等、興味があります。

C社
観光施設

受付の人員不足が続き、繁忙時に行列ができやすいです。また、他部署応援や締めの遅延による残業も課題となっています。
動物のおやつ補充やベビーカー貸し出しなどに手が回らず機会損失も出ております。

現在使用している「スマレジ」アプリと紐づけできる券売機、また自動改札機の導入。
可能であればオンラインチケットのQRコードも自動改札機に読み込みできるようにしたいです。

D社
製造・販売
体験施設

- ①受付・顧客情報の紙管理による非効率
すべて紙で記入しているため時間がかかり、顧客データの蓄積・活用ができず、リピーター確認も困難。紙の保管コストも発生している。
- ②完成イメージ共有不足によるトラブルリスク
デザインが複雑で仕上がりを想像しにくく、「イメージと違う」といった認識違いによるトラブルが発生しやすい。
- ③3万通り以上の複雑なデザイン管理と属人化の限界
膨大な組み合わせと制約をスタッフの記憶に頼って案内しており、組み合わせ不可の見落としなどミスが避けられない。
- ④「デザインシート」から「指示ボード」への変換・転記作業の負担
紙のシート内容を職人用に変換し手書き転記しているため、誤記・漏れが頻発し、制作ミスや精神的負担につながっている。
- ⑤手計算による会計の非効率さ
複雑な料金計算を手作業で行うため、時間がかかり計算ミスのリスクも高い。

当工房の体験フロー全体をシステム化し、「熟練度や環境に左右されず、誰でも正確に受付・指示ができる仕組み」と「顧客満足度の向上」を実現したいです。

- ①お客様のスマホで顧客情報とデザイン仮選択を入力し、ペーパーレス化とデータ管理を実現する。
- ②選択内容を反映した完成イメージをリアルタイム表示し、認識違いによるトラブルを防止する。
- ③スタッフが最終確認し、制作不可パターンは自動警告する仕組みでミスを防ぐ。
- ④確定デザインをもとに顧客控え兼納品書を自動出力し、照合作業を効率化する。
- ⑤職人が一度に8名分を確認できる一覧画面と、高温環境に耐える12インチ級端末を導入する。
- ⑥ガラス色に合わせた文字色など、誤認防止に優れた視覚的UIを採用する。
- ⑦料金を自動計算しレジへ共有し、再入力や計算ミスを防止する。
- ⑧体験説明を動画化し、スタッフの説明時間を削減する。

E社
土産物関連

- ・インバウンド需要の回復と多言語対応の必要性を背景に、現行注文法はペーパー手書きで毎回説明が必要。1足につき1枚の紙を消費し、1日に約100枚程 廃棄用紙が出る非効率が発生（個人情報保護も行う）。
- ・お土産店では物品ロスが増加。AIを活用したセキュリティ管理システムの構築。万引き防止策のため「従業員労務の削減（監視・対応の省力化）、ストレス・増→残業発生。
- ・出退勤・残業を「1分単位」で計上計算運用を実施、経理担当者が全員分の入退室・打刻を分単位で集計する負荷が大きい。
- ・経理のDX化による、売上管理、仕入れ在庫管理、給与管理（1分単位の残業計算への対応）その他経費と連携処理の時間が膨大で負荷が大きい。

- ・多言語デジタルオーダーシステム（QR起点のセルフオーダー他）、システムの構築による、従業員作業付加の軽減。
- ・AIを活用した、セキュリティシステムの構築により、万引きなどへの対策時間削減、従業員のストレス減と容易な万引き防止システムDX化。
- ・出退勤・残業を「1分単位」で計上処理を昔ながらのタイムカードから、スマホなど活用による一括集計システム、シフト作成のDX化。
- ・売上管理、仕入れ在庫管理、給与管理（1分単位の残業計算への対応）その他経費処理など、経理全体の連携を図り省人化によるDX化。